

M-GTA研究会

* 第7回 修士論文発表会

概要：①M-GTA（修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ）を活用して修士論文を書き上げた学位取得者の**成果発表**——領域的知見と方法論的な苦労や工夫について発表してもらい、後学の参考とする。②現在M-GTAを活用して修士論文にとりかかっている修士課程生の**構想発表**や**中間発表**——スーパーバイザーやフロアとのやり取りを通じ、研究の洗練を促す。本発表会は、参加者を研究会の会員に限定せず、ある程度の公開性をもたせる。

日時：2013年7月26日（土） 12：30～18：00

会場：大正大学7号館4階742教室

世話人・スーパーバイザー：阿部正子（長野県看護大学）、小倉啓子（ヤマザキ学園大学）、木下康仁（立教大学）、倉田貞実（浜松医科大学）、坂本智代枝（大正大学）、佐川佳南枝（熊本保健科学大学）、竹下浩（ベネッセコーポレーション）、田村朋子（立教大学）、根本愛子（成蹊大学）、林葉子（お茶の水女子大学）、山崎浩司（信州大学）

プログラム：

12：30～12：40 開会の挨拶・趣旨説明 小倉啓子・山崎浩司

12：40～13：35 構想発表 [SV 林葉子]
坂上和子（武蔵野大学大学院人間社会研究科・M2）
「小児がん拠点病院におけるボランティアコーディネーターの役割と課題」

13：45～14：50 成果発表 [SV 小倉啓子]
高山純子（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科・M修了）
「食事作りへの参加からみる夫の家事役割意識」

15：10～16：25 中間発表 [SV 阿部正子]
大高靖史（筑波大学大学院人間総合研究科・M2）
「自殺未遂者のリカバリープロセスに関する研究」

16：35～17：30 構想発表 [SV 田村朋子]
霍沁宇（一橋大学大学院言語社会研究科・M2）
「アカデミック・リーディングの授業に関する一考察：上級日本語学習者の読み方の変容を中心に」

17：35～17：50 総括コメント 木下康仁・佐川佳南枝

17：50～18：00 閉会の挨拶 坂本智代枝

申込：会員は研究会HPかMLから7月20日（日）迄にお申し込みください。非会員は7月17日（木）以降に研究会HPで公開される参加申込URLから、お申し込みください。定員になり次第〆切ります。なお、非会員は当日資料代1,000円を申し受けます。

問合せ：modifiedgta@gmail.com

担当：坂本・阿部・宮崎・山崎